



【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	大分県
取組市町村名 取組団体・企業名	佐伯市
取組の名称	子どもが作る弁当の日
実施時期	令和3年12月23日(木)
取組内容	<p>・職員の共通理解 職員自らも体験する・これからも続けられるように給食を中止したりせずに弁当が必要な学校行事の日に設定をする。多様な家庭を想定して、5つのコースを設ける等の工夫をしました。</p> <p>・保護者への理解 趣旨等を文書配布とともに、12月のPTAで説明しました。</p> <p>・事前準備</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 一か月前・・・学校司書さんに協力をしていただき、コーナーを設置しました。 ② 一週間前・・・家庭科の授業で、説明を聞いたり、グループで話し合ったりしながら、各自の計画書に案を記入しました。 ③ 同時期に、保護者通信『かけはし』を発行しました。 <p>・当日の写真や感想</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>職員：『はじめて作った、息子の分も一緒に作り、嫁さんに褒められた。』</p> <p>生徒：『毎日家族に作ってくれている母の大変さを知ることができた。早起きも大変だけど、つめる作業を完成させるまでにも時間がかかるので、たまには手伝いをして感謝を伝えようと思った。』</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>保護者：娘とののはじめてのお弁当日。前日から明日はオムライスを作る！とはりきる姿がとても微笑ましく、楽しみに朝を迎えました。自分の分に父と母と3人分の、手際よく作られたオムライス。お弁当箱に丁寧に詰める様子を見ながら、大きくなったなあと頼もしさを感じました。娘が作ってくれたオムライスの優しい味は、とても温かい気持ちにさせてくれました。自分のために、そして家族を思って作ってくれたお弁当。ごちそうさまに込められたお弁当の意味を、娘はどう受け取ったのか、これからが楽しみです。“食は命なり”命を育む食の大切さを、改めて考える良いきっかけをいただきました。慌ただしい毎日の中で、作られた親子の時間。お弁当日の取り組みに感謝します。</p> </div> </div>

